



発行日 2025年6月30日  
発行者 NICE沼津国際交流協会  
(企画広報部会)  
所在地 沼津市御幸町16番1号  
(事務局) 沼津市役所地域自治課内  
☎055-934-4717  
FAX055-931-2606  
<http://www.nice-numazu.org/>



## 2025年度沼津国際交流協会総会開催



5月11日(日)、沼津市民文化センター大会議室にて2025年度沼津国際交流協会の総会が開催されました。2024年度の事業報告及び決算報告、並びに2025年度の事業計画及び予算について滞りなく議事が進行し、すべての議案が承認され無事に終わりました。

また当日は頼重秀一沼津市長をはじめ、多くのご来賓の方々にご臨席いただき、当協会へのご祝辞を頂戴し、とても和やかな総会となりました。ご出席いただきました皆様には感謝を申し上げます。

## ふれあい部会

ふれあい部会主催の国際協力研究事業である2024年度第2回目の国際交流サロンが1回目と同じ、「色々な国を知ろう！」をテーマに3月8日（土）に千本プラザ大会議室で開催されました！

今回はグランジャー・グローバル・アカデミー沼津校で日本語の勉強をしているネパール、バングラデシュ、ミャンマー、スリランカ出身の4名の生徒さんに、パワーポイントを用いてそれぞれの国の紹介をしてもらいました。各々の国の文化や料理、有名な観光地や行事などを、学んでいる日本語で詳しく説明してもらい、また、母国語での挨拶を参加者一同で唱和するなど楽しみながらとても有意義なひと時となりました。



生徒さん達はスピーチの中で、この沼津市に住みながら学んだ日本語をベースに、将来の職業選択や活躍の場を世界に求める夢を語ってくれました。目標や目的をもってこの沼津市を訪れている生徒さん達のスピーチに、心が熱くなった聴講者の方も多かったはずですよ。



不十分な広報にも拘わらず50名近くの参加者が集まり、皆さんからは積極的に質問をいただきました。このサロンを通じて、市民の皆さんに外国の文化や習慣の一端を知っていただくことができ、とても嬉しく思います。



今後ふれあい部会では様々なイベントを通じ国際交流を進めていきたいと思っております。たくさんの方々のご参加をお待ちしております！！



## 岳陽部会

### 中国文化講座を聴いて（工藤勝秋）

3月10日（月）19:00～20:30にサンウェルぬまづ2階大会議室で『中国文化講座』を開催しました。元中国国際放送局（北京放送）勤務でアナウンサーの高橋恵子先生に講師をお願いし、『感じる中国～西安・上海・北京見聞録』と題して講演をして頂きました。

内容は、高橋先生が自ら現地の人達と直接交わした会話を市民感覚で捉えたもので、その際に撮影した数多くの写真も拝見することができ、非常に分かり易く、正に『今の中国・生の中国・新しい中国』を知る事が出来ました。

そして今回の講座で私が強く感じたのは、「今までの私の常識は、最早通用しない」という事と「その流れと速さにはとてもついていけない」という事実でした。①中国国内では現金は殆ど流通せず、スマホで決済が常識。②学校での授業はタブレットが基本で、教科書や紙に文字を書く様な事は少なく、画面をタップするだけ。キャッシュレスやペーパーレスと言った言葉は完全に死語です。



日本国内ではコンプライアンス・ハラスメント・ジェンダー等々の言葉が氾濫していますが、国外ではロシアがウクライナに侵攻し、イスラエルとパレスチナの紛争は一向に収まる気配もなく、中国は親口・親北朝鮮と対米に覇権主義等々、いずれもチキンレースの様相を呈して混乱。そして今最も話題になっているのが、アメリカ大統領が発したトランプ関税です。強い者が勝ち、勝った者が正しい時代に…？何が正しくて、何が正しくないのか？価値観の変化？



秩序（道徳）や常識で育った私の良き時代昭和！！  
『昭和は遠くになりけり』



## 岳 陽 部 会

### 中国岳陽市への沼津市民訪問団（大村忠義）

**5/23(金)** 6時40分皆さんに見送られ沼津市役所を出発。18時ごろ長沙黄花国際空港に到着。21時ごろホテルの汨羅栄元華美達酒店に到着しました。ホテルは赤いイルミネーションが印象的



的で、とても華やかでしたが少し気恥ずかしいほどでした。時間も遅いのに汨羅（べきら）の市長や議長がホテルの前で出迎えてくださり、歓迎の気持ちが伝わってきました。

汨羅はちまき発祥の地とのことで、実際に食べてみました。テレビでは地域ごとに形や中身が違うちまきが紹介されていて興味深かったです。

**5/24(土)** 翌日は汨羅国際龍舟祭を見学しました。孫悟空も登場し、スタジアムは満席。特別席で、にぎやかなパレードを楽しみました。



特に、長い棒を足につけて扮装した人たちの行進が印象的でした。開幕式では頼重市長が竜の人形に目を入れる役を務め、誇らしく感じました。

見ました。

友好都市提携40周年の記念式典では、厳かな雰囲気の中、調印式が執り行われました。



君山島では記念植樹式があり、両市の木「ホルトノキ」と「松」を植えました。私たちも土をかけ、成長した姿をいつか見に来たいと思いました。10年前の30周



年時に記念植樹した木が大きく育っていて、時間の流れを感じました。

**5/25(日)** パトカー先導で訪れたパンダ楽園では、屋内外に10頭のパンダがいて、可愛らしい姿を見られました。竹は四川省から運んでいるそうです。暑さに弱いパンダもこの日は気温が低めで外に出ていました。



次に訪れた岳陽楼では、仙人の像があり、日本に渡る予定だったものの、酒を飲んで船に乗り遅れたという逸話があるそうです。

洞庭湖博物館では、動物や恐竜の化石、地元の歴史を紹介する展示を見学。

岳陽生態園では、鹿に似た「四不像（シフゾウ）」をサファリカーで見学。ちょうど川で水浴びしていて、見た目の違いがよく分かりました。

夜は湖南観光発展大会のオープニングセレモニーに参加。広場に大きな舞台が設置され、私たちは特別席で



華やかなパフォーマンスと映像を楽しみました。

**5/26(月)** 岳陽市外国語学校では、日本語での感動的なスピーチや合唱「涙そうそう」があり、



生徒たちの努力が伝わってきました。中日友好会館には過去の訪問写真が展示されていました。

太極拳体験では、準備運動だけでしたが、24式の動きは自分が日本で練習しているものと同じで感動しました。

公式訪問団が帰国し少し寂しくなりましたが、その後は「洞庭漁歌小鎮」という再開発された漁村を見学。おしゃれで楽しげな街並みでした。

5/27(火) 荊州博物館を見学。1800年前のミイラが良好な状態で保存されており、驚きました。



1975年にほぼ完全な状態で発見。歯が38本も残っていたのが印象的でした。その後は広大な城壁（全長11km）を見学。上には三国志の武将たちの像が並んでいました。

宜昌市は400万人の都市。歩道駐車がなく、バイクの人もほとんどがヘルメット着用。夜はモール横の屋台でお酒を楽しみました。

5/28(水) 三峡ダムを見学。エスカレーターで楽に展望台へ。実際の放水は見られませんでした。写真でもその迫力に驚きました。軍の管理下で、カメラや刃物の持ち込みは禁止です。



三峡遊覧船では、パナマ運河のように水位を調整しながら通過する様子を船内から見学。水が減り、ゲートが開く様子はとても印象的でした。途中、崖にある“土家（トゥチャ）族”の古い住居も見られ、歴史を感じました。

5/29(木) 450Kmの長距離バス移動で長沙へ。川沿いのマンション群には30万人の人が暮らしているようで、規模に驚きました。



湖南省博物館では、2000年前の女性のミイラを見学。保存状態が良く、衣服も完璧。副葬品や埋葬の深さについての説明もあり、興味深かったです。

5/30(金) 朝4時半に起床。出国手続きは厳しかったものの、疲れは感じませんでした。

公式訪問に同行し、貴重な体験ができました。市役所の方々や通訳の連さんに感謝。大自然と大都市をあわせ持つ中国、また訪れたいと思いました。

5/26(月) 岳陽市と沼津市の繋がりを築かれた**福地愛子さん**のお宅を訪問。沼津市より百歳のお祝い「長寿賞」が授与されました。



### 杉原千畝夫妻顕彰会活動



沼津国際交流協会が杉原千畝夫妻顕彰会に携わるようになったのは、2020年港口公園に建立された同顕彰碑の除幕式からでした。

今年は建立5周年を記念した祝賀式典と邦楽演奏会が5月5日（祝）に沼津市民文化センターで開催されました。



毎年状況・会場等が異なりますが会員の方々の協力を得て今年も受付・裏方と無事務めることができました。

『ウクライナに1日も早く平和が取り戻せますよう願っています』

